

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 76 号
医療法人 せいらぎ会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>
e-mail: kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2008年5月5日(月)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(76) 切迫流産早産！



李東垣

散策によい季節になりました。
近所の空き地や庭で太陽に照らされ輝く大量の扇骨(白干し)に出会うことが出来ます。
安曇川町は「扇子のまち」で知られ、全国の扇骨(扇子の骨の部分)の九割を生産しています。その扇骨は、京都に送られ、絵付けされた地紙(和紙や絹)を貼られ「京扇子」となります。扇骨は、安曇川の堤防に生えている「真竹」を利用して、安曇川左岸の高島市新旭町新庄や太田で農閑期の仕事として、江戸時代に始まりました。実に三〇〇年を誇る安曇川の伝統産業と言えます。明治以後は、竹材の裁断から扇骨の出来上がりまでの工程を分業するようになりました。「白干し」もこの工程のひとつです。砂利を敷き詰めた所に太陽の日を一杯受けられるよう扇骨を円すい形状に広げた光景がい



扇骨干し (高島市安曇川町)

たとところでみられます。
切迫流産、早産のお話です。妊娠二十一週までの分娩を「流産」、妊娠二十二週〜三十六週までの分娩を「早産」と言い、流産しそうな状態を「切迫流産」、早産しそうな状態を「切迫早産」と言います。性器出血(赤色や茶色)、腰痛、

下腹部痛、破水(羊水が出てくる)、子宮頸管長の短縮などの症状が始まります。内診、超音波検査、NST(分娩監視装置で胎児心拍を調べる)、早産マーカー、破水試薬、腔分泌物細菌培養検査などを利用して診断し、安静(自宅または入院)、漢方薬、子宮収縮抑制剤などで治療します。

二十九歳女性、**切迫流産**、妊娠十五週、下腹部痛、子宮出血。超音波検査で、赤ちゃんの発育・心拍、子宮頸管長、胎盤の異常(一)。子宮口より出血(十)、破水(二)、黄色帯下(十)。顔色は普通、腹部は柔らかく、胃内停水、臍上悸、下腹部に軽度圧痛。脈は沈、細。舌は、淡紅色、薄白苔、湿潤、舌下静脈軽度怒張。そこで、入院を指示し、芍婦膠艾湯、ウテメリンを処方し、抗菌作用のある膈剤を挿入。一週間の入院で諸症状が消失し、退院。その後、順調に経過して、妊娠三十八週で、三二二〇gの男児を分娩。

二十六歳女性、**切迫早産**、妊娠二十八週、腹緊、腰痛、子宮出血。超音波検査で、赤ちゃんの発育・





心拍・胎盤の異常(一)。子宮頸管長の短縮。NSTで子宮収縮(十)。顔色は普通、腹部は柔らかく、臍上悸(十)。脈は浮、細。舌は、淡紅色、無苔。そこで、入院を後、ウテメリンの点滴、当帰芍薬散を処方。七週間入院後退院。妊娠三十九週で、二八九〇gの女児を分娩。

五七歳男性、**胃潰瘍**、一六七cm、六八kg。ヘリコバクター・ピロリ除菌治療、胃酸分泌抑制薬、胃粘膜保護薬、胃運動機能改善薬などの治療を続けているが症状(胃痛、胸焼け、食欲低下など)が改善しない。足が冷えやすく軟便傾向、腰痛を自覚。顔色青白いが両頬は紅潮。お腹は柔らかく、胸脇苦満、心下痞硬、臍上悸、両側臍傍に抵抗と圧痛、脈は沈、遅、弱。そこで、加味五積散を処方。二週間後、胃痛、胸焼け、食欲改善。三ヶ月後、軟便傾向、腰痛が改善。一年後、廃薬。三十八歳女性、**眼精疲労**、頭痛、肩こり、首の凝り、胃もたれ。顔は血色紅潮。腹は軟弱で、胃内停水、臍上悸、脈は浮弦数。舌は淡紅色、乾白苔。眼科的に問題なしと言われた。そこで、釣藤散加黄連を処方。



[院長]

一ヶ月後、頭痛、肩こり、首の凝り、胃もたれ等が軽減。三ヶ月後、目の疲れも楽になった。二年服用して廃薬。

三十五歳女性、**子宮内膜症**、月経困難症、過多月経、性交痛、便秘。顔面青黒く、眼窩にくまを認めた。腹部は堅く、胸脇苦満、心下痞硬、臍傍抵抗圧痛。脈は沈、弦、実。舌は、暗紫色、乾白苔、舌下静脈怒張。超音波検査で子宮は鶯卵大(子宮腺筋症)、両側卵巣はチョコレート嚢胞(四・五cm)、ダグラス窩に硬結(抵抗と圧痛)。そこで、芫帰調血飲第二加減加三陵莪朮、薏苡仁、大黃を処方。三ヶ月後、月経痛、過多月経、性交痛などが軽減。一年後、リユープリンを併用。二年後、卵巣チョコレート嚢胞消失。五年後、諸症状が改善して廃薬。

今回は、**子宮筋腫** Ⅲです。



胃 潰 瘍

ヘリコバクター・ピロリによる慢性型と鎮痛剤、ステロイド、ストレスによる急性型があります。胃痛、胸焼けなどの症状が改善したら、除菌治療と維持療法(再発防止のため)が大切です。漢方薬は、体質改善することで症状を減らし、胃潰瘍の再発防止に役立ちます。



眼 精 疲 勞

眼の疲労、視力低下、複視、眼痛、頭痛、肩こり、悪心、嘔吐などの症状を自覚します。眼科疾患(緑内障、角膜炎、結膜炎、遠視、乱視、老眼、シェーグレン症候群、副鼻腔炎、更年期障害、うつ病)などを見逃さないことが大切で、気血水を調え、五臓を調整する漢方薬が有効です。



子 宮 内 膜 症

月経痛、過多月経、性交痛、腰痛、肛門痛、排便痛、排卵痛、便秘(月経時は軟便傾向)で、イライラ(特に月経前)しやすく、不妊症の原因の50%を占めています。漢方薬で子宮(骨盤)の血行が改善し、体質が変わり多くの症状がなくなります。癒着が強く、大きいチョコレート嚢腫の方にはホルモン治療も併用することがあります。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮**で作ります。
当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、**しっかり蓋**をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。
漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、**痺れ**、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、腔分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

予約-漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります。予約制、2回/月。
午後2時～2時20分、2時20分～40分、2時40分～3時、
3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時。
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。
・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリクス ・メシマコブ
・靈芝 ・AHCC ・サメ軟膏

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が
使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、
早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、
その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。
往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問
診療**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、
膝の痛み、ムチウチ、捻挫、花粉症、アトピー性皮膚炎、
ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは3.0mm、
いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、
足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

処置診(処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザー)

診察券を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を書き、**処置の
欄**にチェックして下さい。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	母乳相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

◇漢方外来(月～土) : 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。

◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分
3時40分～4時 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)

◇更年期外来(月～土曜日): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)

◇不妊 外来(月～土曜日): 赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)

◇妊婦 外来(月～土曜日): 妊婦健診、妊娠中の方

◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診

◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。電話予約可

前期と中期-母親教室

日時: 平成20年6月14日(土)、7月5日(土)の各土曜日
対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約をお願いします。*ご主人様もお気軽にご参加下さい。

立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前記入をお願いします)

後 期 - 母 親 教 室

日時: 平成20年5月14日(水)、24日(土)、6月7日(土)、18日(水)、
25日(水) 対象: 妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

母親教室のお知らせ

母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。参加時には母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。 (“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。)

ご主人と一緒に参加される場合は、必ず申し込みノートに予約の記入をお願いいたします。



金 元 四 大 家 II

劉完素(河間)は、すべて病は熱(炎症)が原因であり、熱が体を消耗させてゆくという考え方を力説し、多くの寒涼薬(防風通聖散など)を用いました。張從正(子和)は、その熱を下げるには邪、即ち悪いものを汗で発散し、吐かせ、下すという強烈な瀉法(三聖散など)を推奨しました。李杲(東恒)は、気を補いながら清熱しようと考へ、補中益気湯を考案しました。朱震(丹溪)は、水を補って火を降だすという考え方を提唱し、「陽常有余、陰常不足」という学術的観点から滋陰降火湯を考えつきました。



分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。ご予約には、分娩予約カードと予約金10万円が必要です。予約された方には、母と子のてびきをお渡しします。里帰り分娩も受付ています。

外来の予約

診察の流れをスムーズにし、患者様の診察の待ち時間を短くするため中止しました。

漢方のお茶

漢方のお茶[清暑益気湯(せいしよえきとう)加減]を待合に置いてあります。疲労回復にもってこいのお茶です。ちょっと疲れ気味の方はお試しください。妊娠中の方も飲みください。

パソコンホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ(在宅療養の支援)
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付ています。妊娠24週ころ(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

外来医の変更

6月7日(土曜日)の外来は、院長が日本東洋医学会総会に出席するため、担当医が変わります。この日の漢方外来はありません。